

観光を活用した持続可能な地域づくり方針の概要

観光を取り巻く状況

○国の動向

- ・「明日の日本を支える観光ビジョン」の策定(H28.3)
- ・「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」の策定(R4.3)
- ・「観光立国推進基本計画」の策定(R5.3)
- ・「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」の見直し(R5.4)

○旅行者の動向

- ・旅行会社に頼る出発地主導型から、地域が主体的・戦略的に集客や開発を行う地域主導型(着地型)観光への転換
- ・団体旅行、モノ消費から個人・グループ旅行、コト消費への転換
- ・観光DXの推進による、HPやSNSなどの電子媒体を活用した観光情報へのアクセス性の向上や個人による手軽な旅行予約への移行

○観光を取り巻く課題

- ・コロナ禍の影響による観光客の激減や旅行形態の変化への対応など、持続的かつ柔軟な受け入れ体制の構築が必要
- ・少子高齢化やコロナ禍の影響に伴う人材流出や事業規模の縮小により、人材不足が深刻化
- ・地域の稼ぐ力を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った民間主体の組織体制の強化が必要
- ・感染症や地震・大雨等に伴う自然災害発生時における、観光客への情報発信や安全・安心対策といった危機管理体制の強化が必要
- ・少子高齢化やコロナ禍などの影響により、地域活動の規模が縮小し、地域住民の手で守られてきた歴史や伝統文化、自然環境などの保護や維持が困難
- ・インバウンドの増加に伴う異なる文化や価値観を持った来訪者との共生や相互理解の醸成が必要

高山市の強み

○高山市の強み

- ・半世紀以上に亘り取り組まれてきた誘客活動の実績や官民が一体となった体制
- ・先人たちにより脈々と受け継がれてきた優れた伝統文化、景観、食文化などの財産
- ・飛騨山脈や白山、御嶽などに囲まれた豊かな自然から生み出される清らかな水と農林畜産物、食などの資源
- ・おもてなしの心で旅行者を暖かく迎え入れるなど、観光を支えてきた地域住民

観光を活用した持続可能な地域づくり方針

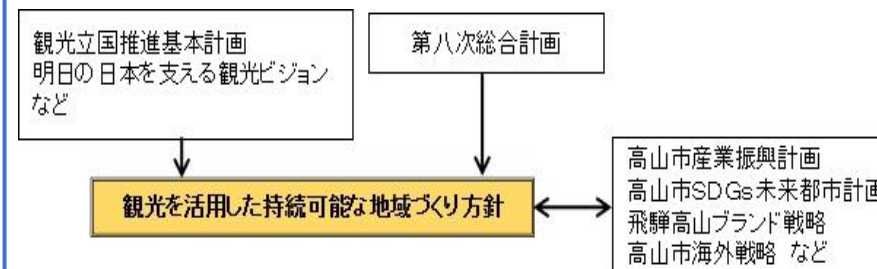
1)目的

- 470万人を超える観光客が訪れる国際観光都市として成熟した観光の手法の活用
- 先人たちの努力により脈々と受け継がれてきた高山市の強みを守り、高め、後世に引き継ぐための認識の共有
- 異なる文化や価値観を持った旅行者との相互理解の醸成
- その他国内外の動向や社会情勢の変化への柔軟な対応

国際観光都市として成熟した飛騨高山の観光の強みを、市のまちづくり全般に波及させていくため、「観光を活用した持続可能な地域づくり方針」として示す

2)方針の位置づけ

本方針は、国の「明日の日本を支える観光ビジョン」、「観光立国推進基本計画」や高山市の「第八次総合計画」、「高山市産業振興計画」、「高山市SDGs未来都市計画」、「飛騨高山ブランド戦略」、「高山市海外戦略」と整合性を図る



3)高山市における「観光を活用した持続可能な地域づくり」の目指す姿

■目的

「持続可能な地域づくりの実現」

～観光を柱にした地域経済から、持続可能な地域づくりのために観光を活かすまち飛騨高山～

■基本方針

先人たちの努力により脈々と受け継がれてきた飛騨高山の歴史や文化、自然を市民一人ひとりが享受するとともに、裾野が広く、地域の人材・資源・産業を有効に活用できる観光の特徴を活かした地域づくりを発展させることで、国内外から選ばれ続ける、住んでよし、訪れてよしの「国際観光都市 飛騨高山」の実現を目指します

○多様な主体の参加を促し、観光の強みを取り入れた強靱な地域づくりを目指します

➢観光を活用して様々な産業・地域・人を繋ぎ、相互の活動等への参加や役割分担の明確化を促すことで、民間の底力や地域の稼ぐ力を底上げし、持続可能な地域づくりを目指します

○観光を活用した地域資源の保護・活用や人材育成、郷土愛の醸成による活力ある地域づくりを目指します

➢観光を活用した交流人口の拡大や地域資源の磨き上げ、多文化共生に対する理解促進、飛騨高山ブランドの共有などを進めることで、地域活力を生み出し、持続可能な地域づくりを目指します

■今後のアクション

○観光を活用した持続可能な地域づくりを進める体制強化

- 民間主体による観光地域づくり組織体制の構築支援
- 市及び観光地域づくり組織における役割分担の明確化
- 観光地域づくり組織による経営戦略(＝観光ビジョン)の作成支援

○観光を活用した持続可能な地域づくりを支える基盤強化

- 持続可能な観光振興を支える新たな財源(宿泊税などの法定外目的税、協力金、寄附金など)の検討
- 既存財源(入湯税)とのあり方の整理
- 使途の明確化や市民理解の醸成

【主な役割分担】

【行政の役割】

- ◎観光入込客数等の把握
- ◎インフラや観光施設等のハード整備
- ◎観光振興に資する新たな財源の検討や支援策の整備
- ◎国、県、国内外の自治体などとの地域間連携の推進 など

情報共有・連携強化

運営支援

【観光地域づくり組織の役割】

- ◎観光入込客数の調査、分析、マーケティング
- ◎明確なコンセプトに基づく経営戦略(＝観光ビジョン)の策定
- ◎多様な関係者の合意形成や事業の調整、仕組みづくり
- ◎観光資源の磨き上げやサービスの品質管理、評価体制構築
- ◎地域一体となった一元的な情報発信、プロモーション など